

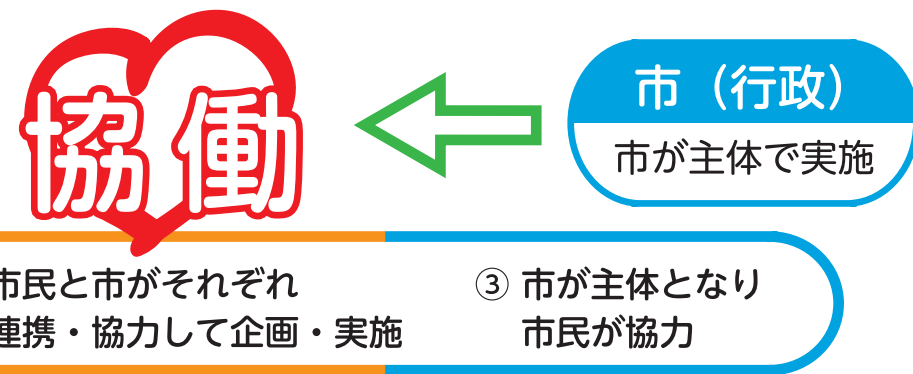
くりを積極的に推進していきます

なぜ協働は必要なの？

問題は複雑化・多様化しているので、そのすべてに対応することはできません。市民や自治会・NPO法人、教育機関、事業者、市など、さまざまなすべての人たちが力を合わせて、まちづくりが求められることが求められています。

Q3 協働の効果って？

地域の課題を解決するためにみんなで連携・協力し合うことで、自分が住むまちに愛着と誇りを持ち、住みやすい、住んで良かったと思える魅力的なまちをつくることができます。



協力して、企画・実施している例

、川遊び
したりし
ことを楽
る楽校で



団塊・高
団体など、
川漁業協
連携した



どもと一緒に、川の危険と安
て、川に慣れ親しみ、身近な自然の
います。また、小学校が実施する総
での自然環境学習を支援しています。

③ 市が主体となり市民が協力している例

高齢者見守りネットワーク事業

(市民、事業者ほか)

どんなことを行っているの？

「高齢者見守りネットワーク」は、高齢者が住み慣れた地域で安全に、安心して暮らし続けることができるよう、市民や事業者と協力して地域の高齢者をさりげなく見守る仕組みです。

市民や事業者が、日常生活・業務の中で異変を感じる高齢者を発見した場合に、市や地域包括支援センターへ連絡し、必要な支援につなげます。



効果は？

市民、事業者などと連携して見守りを行うことで、支援が必要な高齢者の早期発見や、一人暮らし高齢者の孤立死・孤独死の防止、詐欺などの消費者被害の抑制などにつながっています。